受講番号　　　　　学校名　　　　　　　　　　　　　　　氏名

対象児童生徒　　　第　　　　　学年　　　　　　　主たる障害

１　実態把握

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 健康の保持 | | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
| ○うまくいっているところ（興味・関心、得意なことなど）　　●つまずいている中でもうまくいっているところ（学習上生活上の困難） | | | | | | |
| 本人の願い |  | | | | | |
| ○年後に目指す姿 |  | | | | | |

２　中心的な課題の抽出とその理由

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な観点 | □必要性  □適時性  □実現性  □関連性 |

３　指導目標の設定

|  |  |
| --- | --- |
| 長期目標 |  |
| 短期目標 |  |

４　目標達成のために必要な内容（項目）の選定

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 健康の保持 | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
| □生活リズムや生活習慣の形成  □病気の状態の理解と生活管理  □身体各部の状態の理解と養護  □障害の特性の理解と生活環境の調整  □健康状態の維持・改善 | □情緒の安定  □状況の理解と変化への対応  □障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲 | □他者とのかかわりの基礎  □他者の意図や感情の理解  □自己の理解と行動の調整  □集団への参加の基礎 | □保有する感覚の活用  □感覚や認知の特性についての理解と対応  □感覚の補助及び代行手段の活用  □感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動  □認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 | □姿勢と運動・動作の基本的技能  □姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用  □日常生活に必要な基本動作  □身体の移動能力  □作業に必要な動作と円滑な遂行 | □コミュニケーションの基礎的能力  □言語の受容と表出  □言語の形成と活用  □コミュニケーション手段の選択と活用  □状況に応じたコミュニケーション |

５　具体的な指導内容の設定

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 指導場面  指導内容と手立て |  |  | 重視した配慮点 | □主体的  □意欲の喚起  □進んだ側面  □環境調整  □自己選択  □学習の意味 |

６　指導経過

|  |  |
| --- | --- |
| 短期  目標 | ※３を転記する。 |
| 指　導　の　状　況 | |
| 1学期  （○月  ～○月） |  |
| 各教科等との関連 |  |
| 評価  ・改善 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 短期  目標 |  |
| 指　導　の　状　況 | |
| ２学期  （○月～○月） |  |
| 各教科等との関連 |  |
| 評価  ・改善 |  |

７　指導の振り返り

|  |
| --- |
|  |